

製品名		窒素					国連番号		1066											
化学名		窒素					SAMPLE													
該当法法規対応・危険有害性												道路法								
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法											
類 別						指 定 可 燃 物	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	施行令 第19条 の12、13							
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類													●		●
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状										
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性								
				常 温	可 燃 時 火 災 時	水 に 接 触										●				
事故発生時の応急処置 <ol style="list-style-type: none"> ① 車を安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害のないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 容器を覆っているシート等を取り除き、ガスを大気に放出・拡散させる。 ④ 風上より、漏れ止め、容器冷却、容器移動等の災害拡大防止措置を行う。 ⑤ 酸素欠乏に注意する。 ⑥ 下記事項を荷主会社、運送会社、地域防災組織等の関係機関へも連絡する。 																				
緊急通報 119 (消防署) ・ 110 (警察署) ・ 高速道路の非常電話 [緊急通報例] 1. いつ ○○時○○分頃 2. どこで ○○市○○地区 (国、県、市) 道○○号線○○付近で 3. なにが 『窒素 (高圧ガス)』 が 4. どうした 漏れています。/漏れて火災になっています。 5. ケガ人は ケガ人がいます。(救急車をお願いします) /けが人はいません。 6. 私の名前は ○○運送会社 ○○です。																				
緊急連絡 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">荷送会社</td> <td style="width: 50%;">運送会社</td> </tr> <tr> <td>住 所</td> <td>住 所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電 話</td> <td>平日・昼間</td> </tr> <tr> <td>休日・夜間</td> </tr> </table>														荷送会社	運送会社	住 所	住 所	電 話	平日・昼間	休日・夜間
荷送会社	運送会社																			
住 所	住 所																			
電 話	平日・昼間																			
	休日・夜間																			

製品名	窒素	国連番号	1066
化学名	窒素	SAMPLE	

災害拡大防止措置

<漏えいしたとき>

- ① 通風を良くして、ガスが滞留しないようにする。
- ② 防災工具を用い、風上でかつ漏えいしているガスの吹き出し方向の反対側より、容器バブル又は漏えいしている部分を静かに増締めし漏れを止める。
- ③ 漏れが止まらないときは、通風の良好な安全な場所で大気に拡散させる。

<周辺火災のとき>

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動することが不可能な場合は、容器の破損防止のために容器及び周囲に散水する。

<救急処置>

- ① 多量に吸入した場合は、直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。呼吸困難だときは酸素吸入を行う。
- ② 患者が発生した場合は、できるだけ早く医師の手当を受ける。

特記事項

- ① 漏えいしたガスが滞留しそうな場合は、酸素欠乏防止のため関係者以外は立入禁止とする。
- ② ガスを覆っているシート内に滞留しないよう注意する。
- ③ 容器内充てん圧力 : 35°Cで14.7MPa (150kg/cm²) [ゲージ圧力]
 相対密度 (ガス比重) : 0.97 (空気を1とする。空気よりやや軽い。)
 色・臭い : 無色・無臭
 容器外面の塗色 : ねずみ色